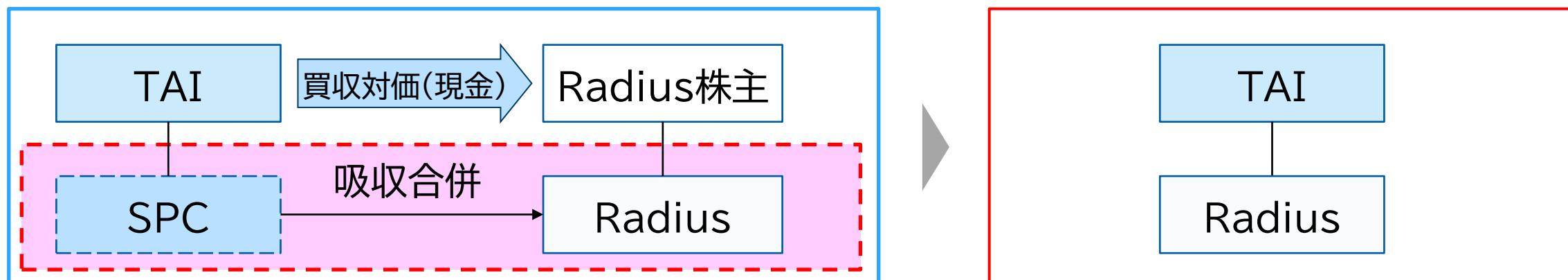


対象・目的	米国で金属スクラップ・使用済自動車及び電池の再資源化、並びに鉄鋼製品製造を営むRadius Recycling, Inc. 社(以下、Radius)の株式取得・完全子会社化
取得 予定金額	907百万USD(@30USD/株 x 30.2百万株)
プレミアム	115%(3月12日 現地時間の同社株式の終値ベース) 102%(3月12日 現地時間の同社株過去90日間の売買高加重平均価格ベース)
想定 スケジュール	25年3月13日～ 合併契約締結、各種申請・届出開始 25年第2四半期 本件に関わるRadius株主総会 25年第3四半期 合併完了

- スキーム
- ・Toyota Tsusho America Inc.(TAI)にて買収目的会社(SPC)設立
 - ・対象会社との合併契約に基づき、対象会社(存続会社)がSPCを吸収合併
(対象会社株主総会による過半数以上の賛同、合併に伴う各種申請に対する当局承認等が条件)



※SPC:買収目的会社(新設)

Radius Recycling, Inc.について

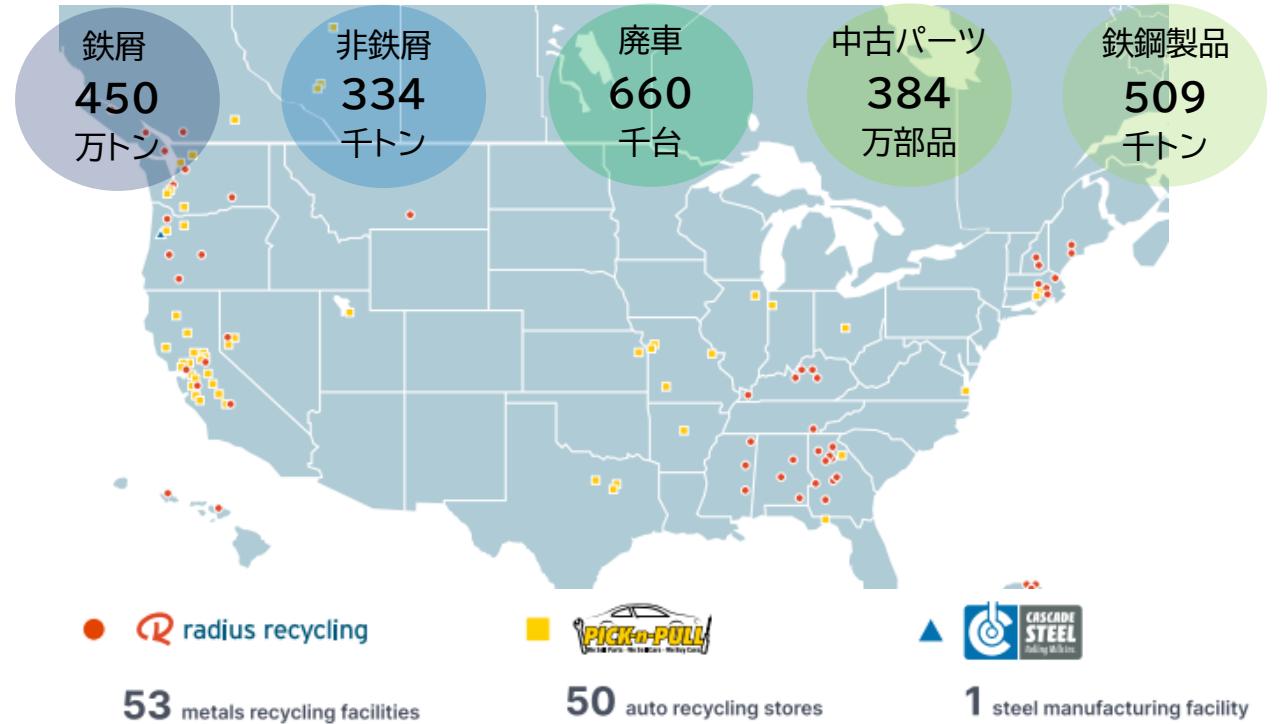


●概要

企業名	Radius Recycling, Inc.
創業	1906年
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・金属スクラップ再資源化事業 ・使用済自動車回収・部品販売事業 ・電炉事業
上場区分	NASDAQ
代表者	Tamara L Lundgren
従業員	3,011名(2024/8/31時点)

●強み

100を超える回収拠点網を保有



Source: Radius Recycling 2024 Sustainability Report

●財務データ

(百万USD)

		20/8期	21/8期	22/8期	23/8期	24/8期
P L	売上高	1,712	2,759	3,486	2,882	2,739
	NPAT	▲4	165	169	▲26	▲266
	Adj.EBITDA	85	289	313	144	29
B S	資産	1,230	1,494	1,827	1,716	1,534
	負債	549	655	868	804	908
	純資産	680	840	958	912	626

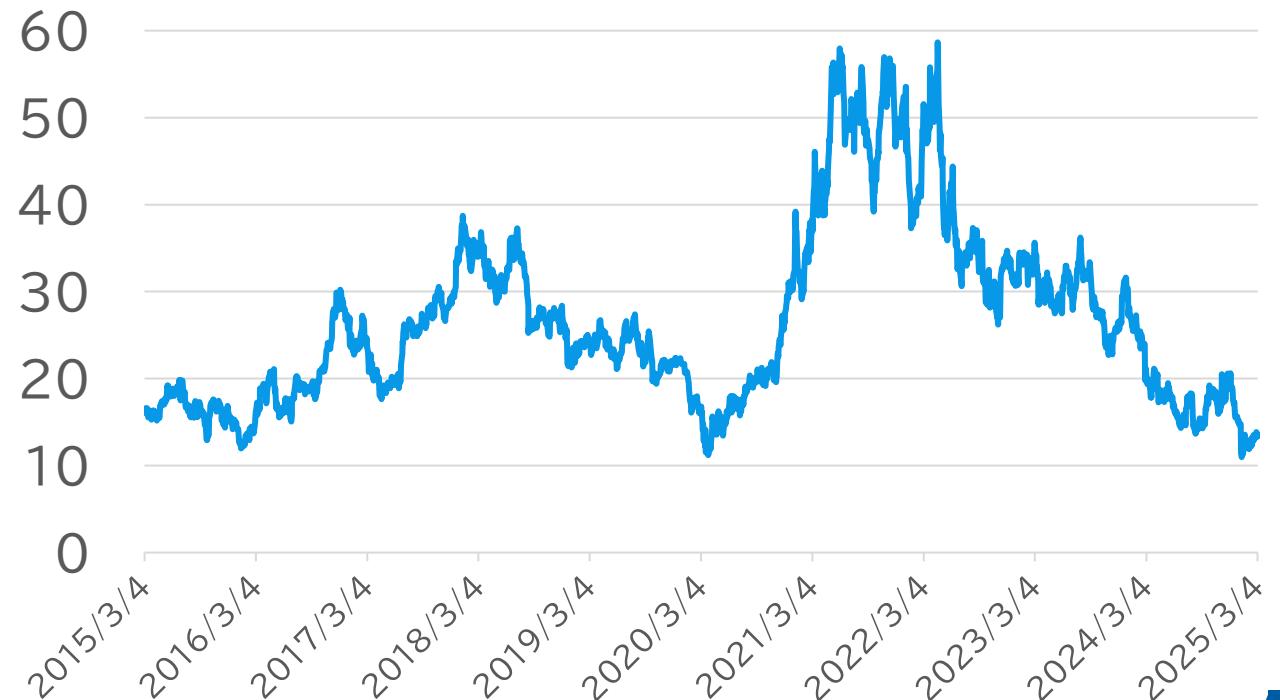
*Adj.EBITDA :Radius Recycling, Inc. 公開情報の10-Kレポート(年次報告書)より引用.

*23年8月期の損益はのれんの減損損失▲39,270千米ドル.

24年8月期の損益はのれんの減損損失▲215,941千米ドルを含んだ記載

●株価推移

(USD/株)



ありたい姿と本件の狙い



ありたい姿

スクラップ発生量が豊富な北米において再生資源を取扱い、グローバルへの供給基地となることで、幅広くCE/CNに貢献する

本件の狙い

自動車領域で培った当社機能とRadius保有の「回収インフラとリサイクル母材」を掛け合わせシナジーを最大化することで企業価値の向上を図る

 radius recycling

母材回収ネットワーク

豊富な取扱ボリューム

加工/輸出拠点



 TOYOTA TSUSHO

クローズドループ*の構築
(動静脈連携)

再資源化機能の
バリュエーション

再資源化技術

金属スクラップ



使用済自動車



車載用電池



*自動車生産工程・使用済み自動車由来の再生資源を回収し、自動車の生産に再度供給する仕組み

●シナジーポテンシャル



協業可能性

金属スクラップ

- ・回収ヤード網(53拠点)
- ・豊富な取扱数量(米国2位)

- ・自動車OEMへの鋼材サプライチェーン
- ・再生資源品質の作り込み
- ・工場内廃棄物管理サービス

- ・再生資源を起点としたグリーンスチール*のサプライチェーン構築によるCE/CNへの貢献
- ・自動車OEMの再生資源ニーズに対する高品質な再生材料サプライチェーン構築

使用済自動車

- ・回収ヤード網(50拠点)
- ・シュレッダー母材

- ・使用済自動車からの高い資源回収率
- ・自動車OEM向けクローズドループ

- ・既存の取扱商品に対する付加価値の向上(再生資源・部品)
- ・自動車OEM向け廃触媒由来の再生貴金属供給量の増加

車載用電池

- ・使用済自動車からの回収

- ・電池の再資源化技術
- ・電池メーカーへの再生電池材料のサプライチェーン

- ・市中発生の使用済電池/工場発生電池廃材の回収と再資源化による電池クローズドループの構築

*環境に配慮して製造された鉄鋼